

# 日刊 動労千葉

81.12.24

No. 929

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五(六)公衆(電話)二七二〇七

## 一年間を振り返って 各支部長に聞く 2

おとそ気分もぬけぬ正月八日  
・九日と減産闘争で始まった八  
一年、動労千葉には、試練の三  
年目もどうにか過ぎようとして  
います。

しかし、ほんとうにいろいろ  
ありました。今年、千三百  
の少数組合、どうせたいしたこ  
とは出来まい」という敵をあざ  
むき、やりぬいた三月ジェッ  
闘争、もちろん報復処分は覚悟  
の上とはいえ、組合員四人に一  
人の処分とは敵意まるだし、  
出るクイは打たれる」のこわ  
ざどおり、悪いのは動労千葉と  
言わんばかりの動労「本部」の  
あの「六月デッチ上げ不当逮捕  
事件」。あれもこれもこの一年  
間、私達の職場に起きた様々な  
事からすべてが、自分達の組織  
を守り、より強固なものにする  
為の「反面教師」の役割をもは

白井 忠博  
支部委員長  
張 幕  
執行委員

### 一年間あったいろいろに 本当にいろいろあった一年間

年の瀬に感じた事、一言。

たしたものとして今後の  
教訓としてい  
こう。  
六月選挙闘争  
(千葉市議補欠)  
の最中、私に、  
二度目の中国訪  
問の機会をいた  
だき、深く感謝  
しております。

地区労働運動では  
今期又々要職を  
引き受けること  
となり、支部で  
は不幸にして逝  
った現役の同志  
の遺志を引きつ  
ぎ、すべての事  
を運動の糧にし  
てゆきます。

### 三里塚・ジェット闘争貫徹ノ「国鉄35万人制体」粉碎ノ

佐倉支部結成後、はや二年を過ぎま  
した。一年、一年が動労「本部」との  
闘いに明け暮れました。

執行部がまったくの素人でスタート  
した昨年は、まるで何もわからぬまま  
に過ぎ去った想い出がありました。が、  
今年一年は、本当に身の引き締まる闘  
いの連続でした。十年分の闘いを貫い  
たような気持です。

百三〇名の組合員が執行部を信じ、  
一丸となった二月・三月の闘いは、本  
当に貴重な体験でした。思えば助役機  
関士線見阻止闘争や、三月のジェット  
燃料貨車輸送延長阻止闘争のあの闘い  
が、私達執行部にとって始めての大き  
な闘いでした。  
身のふるい立った事が今でも想い出  
せます。

新小岩支部を始め、皆さんの応援を  
いただいたあの籠城は、今振り返ると  
楽しい思い出です。あらゆる挑発をは  
ねのけ、闘い抜いた満足感を味わいま  
した。

### 動労「本部」との闘いに 明け暮れた一年

佐倉支部  
執行委員長 堀口 太一

ともに闘いに参加くださった支援の  
方々が、関西を始め各地よりかけつけ、  
差し入れやカンパをしてくださった事  
や、三里塚の農民の方々が山のような  
野菜の差し入れをいただき、本当に有  
難く思いました。厚くお礼申し上げる  
次第です。  
この闘いは、今でも支部組合員皆ん



勝利のVサイン  
写真で見る  
動労千葉一九八二年

ジェット延長阻止三月決戦スト。3月6日歴史的な全線ストに突入。  
津田沼千葉駅を軸に24時間ストをぶちぬいた。運休三九一本、  
三〇〇万人影響。写真・支援の労友者と共に勝利の報告集会。津田沼入口。

なが胸を張れることでしよう。今でも  
続く動労「本部」との闘いは、組織介  
入という汚い手段で動き始めました。  
二月・三月の闘いの経験を生かし、皆  
んなで粉碎に向け、一致団結を合言葉  
に毎日頑張っております。

乗務員分科も本年結成され、会員も  
暫時増えており、近々まったく対等の  
勢力となるでしょう。また、分科の働  
きも日々活性化しており、支部執行部  
を側面より支える大きな力となってま  
いりました。

一人一人が働く者の意識に目覚め、  
力を合わせ、動労「本部」との闘いに  
向け意気を強めております。私達動労  
千葉の闘いの正しさが明らかになった  
今、佐倉支部も微力ですが、動労千葉  
の方針にのっとり闘い抜く覚悟です。